

国の示す第8期計画策定の考え方について

1. 現時点での制度改正の全体イメージ

【改革の目指す方向】

地域共生社会の実現と2040年への備え

- ・地域包括ケアシステム、介護保険制度を基盤とした地域共生社会づくり
- ・介護サービス需要の更なる増加・多様化、現役世代担い手減少への対応

【改革の3つの柱】 3つの柱は相互に重なり合い、関わり合う

1. 介護予防・地域づくりの推進～健康寿命の延伸～ / 「共生」・「予防」を両輪とする認知症施策の総合的推進

- ・通いの場の拡充等による介護予防の推進
- ・地域支援事業等を活用した地域づくりの推進
- ・認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の総合的推進 等

2. 地域包括ケアシステムの推進～地域特性等に応じた介護基盤整備・質の高いケアマネジメント～

- ・地域特性等に応じた介護サービス基盤整備
- ・質の高いケアマネジメントに向けた環境整備
- ・医療介護連携の推進 等

3. 介護現場の革新～人材確保・生産性の向上～

- ・新規人材の確保、離職防止等の総合的人材確保対策
- ・高齢者の地域や介護現場での活躍促進
- ・介護現場の業務改善、文書量削減、ロボット・ICTの活用の推進 等

【3つの柱を下支えする改革】

保険者機能の強化

- ・保険者機能強化推進交付金の抜本的な強化 ・PDCAプロセスの更なる推進

データ利活用のためのICT基盤

- ・介護関連データ介護DB、VISIT、CHASEの利活用に向けたシステム面 ・制度面での環境整備

制度の持続可能性の確保のための見直し

- ・介護保険料の伸びの抑制に向けて、給付と負担について不断の見直し

介護保険制度改革

(イメージ)

1. 介護予防・地域づくりの推進
～健康寿命の延伸～
／「共生」・「予防」を両輪とする
認知症施策の総合的推進

2. 地域包括ケアシステムの推進
～地域特性等に応じた介護基盤整備
・質の高いケアマネジメント～

3. 介護現場の革新
～人材確保・生産性の向上～

保険者機能の強化



データ利活用のためのICT基盤整備

制度の持続可能性の確保のための見直しを不断に実施

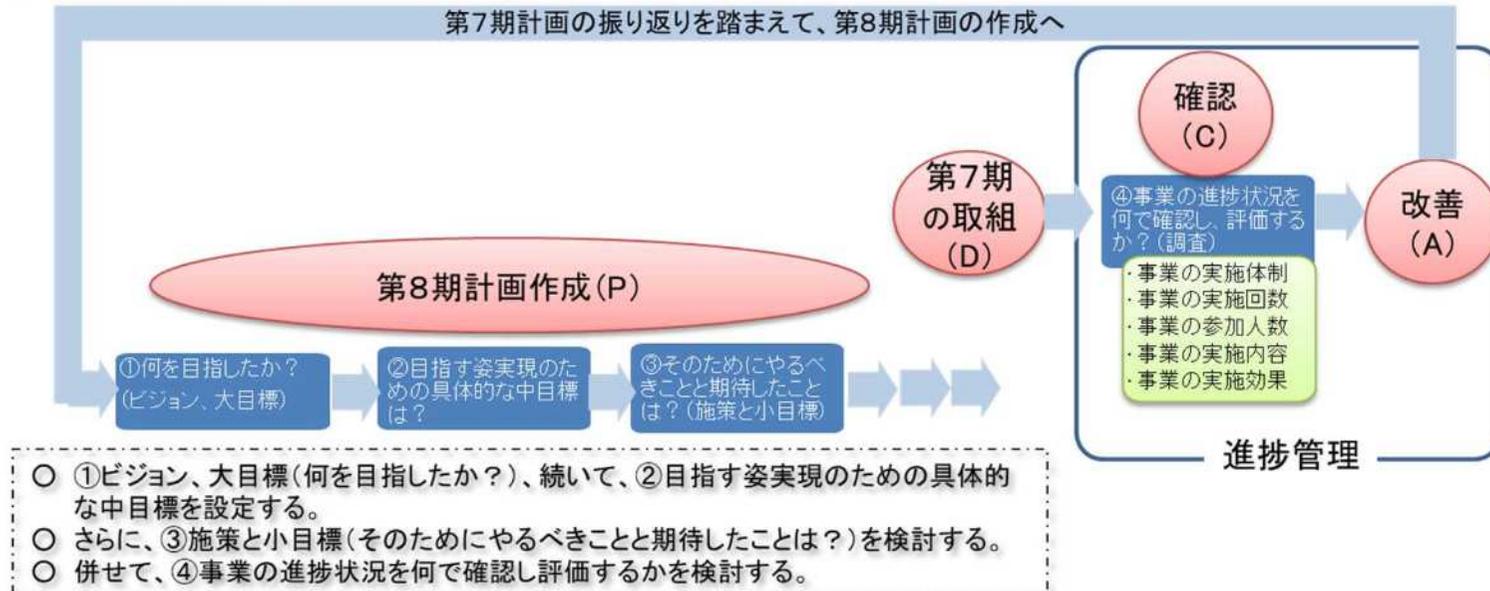
2. 第7期計画の自己評価を踏まえた計画の作成について

図表 1 地域マネジメントの一環としての第8期計画の作成フロー

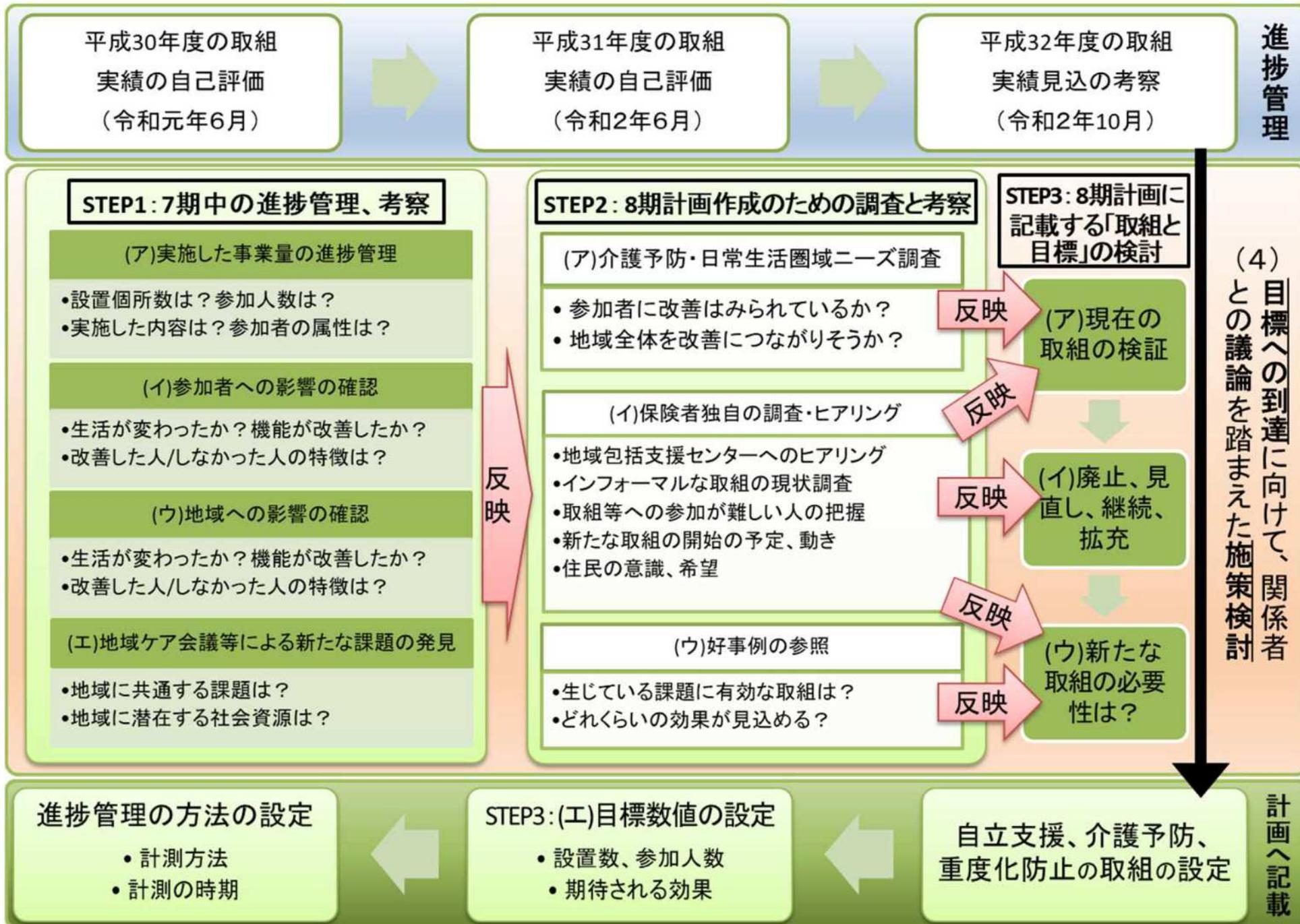
第7期計画の振り返りを踏まえた第8期計画の作成

- 第7期計画から自立支援・重度化防止の「取組と目標」を記載することが必須となり、第7期期間において、毎年度、実績を考察して自己評価いただいているところ。
- また、第7期計画の作成において、多くの自治体では在宅介護実態調査等を踏まえ、家族の負担を軽減し介護離職を防止することに資するサービス提供体制の構築を目指してサービス量を見込むとともに、毎年度、それらサービスの実績値と計画値との乖離状況とその要因について考察いただいているところ。
- 第8期計画の作成にあたっては、こうして毎年度、第7期計画の進捗管理において把握された地域の課題や解決方法を踏まえて、必要に応じて実態把握のための調査・ヒアリングを実施し、これらに関係者と議論することで認識を共有しながら考察することが求められる。
- これらの議論においては、各地域で①何を目指したか？、②目指す姿のための具体的な中目標は？、③そのためにやるべきことと期待したことは？、を考察し第8期に実施すべき施策とその効果を見込んだ上で、計画に記載することが求められる。

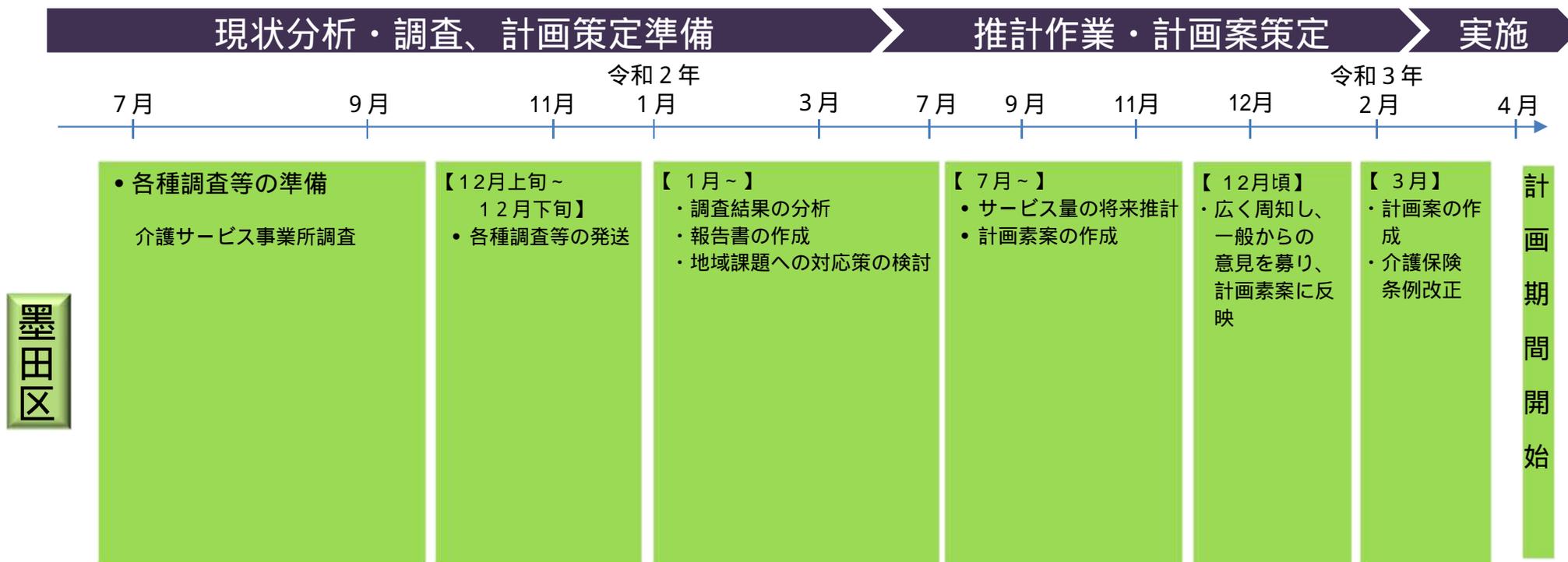
【地域マネジメントの一環としての第8期計画の作成フロー】



図表 2 第8期介護保険事業計画の介護予防等の「取組と目標」の設定



3. 墨田区の第8期計画策定のスケジュールについて



国の動き

- 【令和元年度】
 - ・日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会の開催
 - ・計画策定に向けた調査結果の活用例の提示
- 【令和2年度】
 - ・計画策定に向けた基本指針の提示・告示
 - ・計画策定に向けたサービス量の将来推計のための情報提供